



STG
for SRX
CROSSOVER

ホイール / Gianella BOLOGNA (24x10J+25)
EXGフロント&アンダーグリップ、サイドベント
ロイヤルブルーマット

静寂なる
ゴージャス。

Luxury



ホイールはジオパルナの姉妹ブランド、ジエネリー(Gianella)の本年夏の新作。BOLOGNA。ジオパルナグループらしい、時代を超越したシンプルなフォルムが美しい。24インチのサイズはフェラーリレッドキーパースに明るさも加えた街のトーン。

Close Up トーンに抑えた抑製の効いた表現方法。



フロントグリルのメッシュグリルもアンダーグリップ、サイドベントと、ホイールとマッチさせる金属のトーンをボディにも加味。車内オーナーのアイパレットである黒色のレッドは、内部のプロアマットにも加える。車輪は「静寂」がここにも生きている。

それはジオパルナ・ジャパンのやることではないから」と、
「品よく派手に」という方向性で磨かれたこのクルマもしかし、金属の質感を温めたスポークとレッドカラーにてコーディネートされた構成されるジエネリー・BOLOGNAは、伝統のラグジュアリースタイルを今に伝え、ホワイテがディに更にメッシュグリルの金属の質感を加える事で、「3色」の鉄則をキッチリ守る。カスタムとは、その自由さが魅力なのだが、守るべきものがないと途端に破綻してしまうものもある」とある種説教的に教えてくれた。

「派手一辺倒に右へ言え状態だった数年間で自ら自らのスタンスを崩さず、あくまで都会で映える上品なラグジュアリースタイルを提案し続けて来たT2DF金子氏は言う、「私達はいつの時代も、流行り廃りではない、自分たちの鉄則を守り続けてきました。具体的な例で言うと、デザイニングの鉄則では色使いは3色まで、これ以上やると上品では無くなるし、

「派手一辺倒に右へ言え状態だった数年間で自ら自らのスタンスを崩さず、あくまで都会で映える上品なラグジュアリースタイルを提案し続けて来たT2DF金子氏は言う、「私達はいつの時代も、流行り廃りではない、自分たちの鉄則を守り続けてきました。具体的な例で言うと、デザイニングの鉄則では色使いは3色まで、これ以上やると上品では無くなるし、

U Sの洗礼を受けたラグジュアリーカスタムが現れて久しいが、ではUSラグジュアリーとはなんなのだろうか？ ホイールをむやみにデカくする？ 大膽なボディワークで目立つ？ 派手にベイントを施す？ それは全て正解でもあり、また不正解でもあるのではないが、そんな思いを強くする一台に出会った。



Text : 藤川悠樹 / Three Culture
Photo : 三浦マコト / Akira King